

図書館と県民のつどい埼玉 2012報告



平成24年12月2日(日)にさいたま文学館で、「図書館と県民のつどい埼玉2012」が開催されました。記念講演・分科会・展示で合わせて1,842名の方に御参加いただきました。

午前中の記念講演では、『獣の奏者』で知られる上橋菜穂子さんをお迎えしました。「本との旅路—これまでと、これから」のテーマのとおり、自宅では本を禁じられていたという幼少時代、中学生で影響を受けた本、作品誕生にまつわるエピソードなど、本との関わりを楽しく語っていただきました。参加者アンケートでは、「大変楽しかった」「共感をおぼえました」「子供から大人まで聴くことができる講演会をまた企画してほしい」と大好評でした。午後には、子ども読書活動交流集の4つの分科会(ブックトーク・読み聞かせ・わらべうた・かがく読み物)が行われました。そのほか、展示コーナー(上橋菜穂子氏著作展示・大学図書館のお宝・図書館のイベント紹介・ブックケア)、無料休憩スペースのブックカフェコーナーも含め、終日大勢の方でにぎわっていました。(詳しい内容は、埼玉県図書館協会のウェブサイトまたは記録集をご覧ください。)

記録からピックアップ! 分科会1 ブックトークって楽しい! ~はじめの一步~

- ブックトークとは?
- ①テーマにそって数冊の本を順序良く紹介
 - ②「本を読みたい」と子供に思わせる
 - ③人が口で直接語る



小学校・中学校で実践を積む講師、青木淳子氏、和田幸子氏がシナリオに基づき『キラキラ応援ブックトーク』『学校司書と先生のためのすぐできるブックトーク』実演しました。ホールの壇上という普段とは違う環境でしたが、楽しいブックトークでした。

●<<どんな家に住みたいですか?>>(小学校中学年向き)30分以内 紹介本5冊
『オンネリとアンネリのおうち』『ティリーのねがい』『火曜日のごちそうはヒキガエル』など

●<<ベストフレンドの見つけ方>>(中学校1年生向き)30分以内 紹介本6冊
『人気になる方法』『妖怪アパートの幽雅な日常』『きみの友だち』『リバウンド』など

その後、テーマ、本の選び方、紹介の方法など、具体的にわかりやすい講義があり、実践に生かしてもらえる内容となり、続編を期待する声も聞かれました。

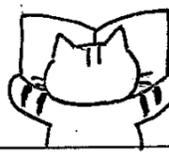
Shienくん⑨ もう1年生になるから



ひとりでよめるもん



よめるけど...



読み聞かせ・ストーリーテリング 初心者向け研修会に講師を派遣します

(読み聞かせボランティア団体のための講師派遣)
絵本の読み聞かせやストーリーテリングの初心者向け研修会に、埼玉県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者を派遣します。研修会の開催方法は県立久喜図書館がサポートいたしますので、お問い合わせください。研修会開催の1か月半前までにお申し込みください。
申込み方法・ご案内: 県立久喜図書館 子ども読書推進担当 TEL: 0480(21)2659
https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html

編集後記
春です。書架におずおず手を伸ばす小さな子供の隣に大人顔になった君を見て、そろそろ子ども室を卒業してしまうのかなと思う日々。広場の風がさわやかです。(子ども読書支援ボランティア N)

編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のウェブサイト「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/> ※バックナンバーはこちら

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5
TEL 0480(21)2659 (代) 彩の国 埼玉県
FAX 0480(21)2791

子ども読書支援情報誌

しえん

Shien 第15号

子供の読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成25年3月15日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

《目次》

- あいのみ文庫30年の願い.....1
- 連載:おはなし・読み聞かせ実践講座⑮.....1
- 連載:子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑮.....2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から.....2
- ブックリスト担当から.....3
- インターネットからの情報収集担当から.....3
- 図書館と県民のつどい埼玉2012報告.....4
- 読み聞かせボランティア団体のための講師派遣.....4

あいのみ文庫 30年の願い



子供たちも大人も学生も、参加者はそれぞれ4時間かけて、思い思いのお面を作り、それをかぶって、トランペットや太鼓などの楽器を鳴らしながら、元荒川の土手を行進しました。これは、昨年(2012年)夏、あいのみ文庫の創立30周年記念事業の一場面です。絵本作家のスズキコージさんを招いて催した「子ども祭り」では、みんな変身や高揚を思い切り楽しみました。

あいのみ文庫の願いは30年間ずっと変わりはありません。「絵本って楽しいよ」「こんな面白い本がありますよ」と、伝え知らせることです。子供だけでなく、ママもパパも、みんなでハラハラドキドキできれば……。そう思ってきました。ただ、思いを実現する方法は少しずつ変わってきました。子供のほうから文庫にやってきた時代から、今は、学校や保育所へ、こちらから出向きます。教育・保育の現場に、外部の人間が入って行けるようになった証でもあります。

私たちは、学校図書館にも、子供と本をつなぐ人がいるべきだと考えてきました。ようやく、越谷市内の小中学校に学校図書館支援員の配置が始まりましたが、まだささやかな一歩です。その定着と充実のために、協力していきたいと思います。
塩谷智紗子(あいのみ文庫(文教大学内)代表)

おはなし・読み聞かせ実践講座 ⑮

読み聞かせなどのワンポイントアドバイスをリレーでお届けするコーナーです。

前回に引き続き、中学生への読み聞かせ PART2 選書編 です。

皆さんは、中学生への読み聞かせのとき、どのように選書していますか? リスト本を頼りにしたいところですが、中学生向けでしかも時間が10分というのは、なかなかありません。久喜中読み聞かせボランティアでは、中学1年生を対象に月3回で活動が始まった当初、選ぶものは「聞き手と読み手がお互いに慣れてくるまでは楽しい本を!」としていました。なるべく選書が偏らないよう毎回のおはなし会のあと、読んだ本を報告しあっています。やはり中学生への選書は難しく、迷った時は、本を持ってきて皆に見てもらったり、自分の子供たち(良きアドバイザー)に読んでみることもあります。

はじめは、小学校の延長のように主に絵本を読んでいましたが、対象が中学2・3年生にも拡がり、中学校側で年度末にとるアンケート結果も受けて、現在では「人の生き方、世界に目を向ける、心をひろげ、開放させる」等が描かれた本(絵本に限らず)を選ぶようになりました。でもたまには息抜きの楽しい絵本も。また、読書につながるように10分間のクイックブックトークを並行してはじめています。(詳しくは次号PART3でお伝えします)

最近の例はこちら! **絵本** 『しげちゃん』(室井滋作・長谷川義史絵/金の星社) 『ひらめきの建築家ガウディ』(レイエル・ドリゲス文・ジュリー・パットル絵/光村教育図書) 『バスラの図書館員』(ジャネット・ウィタ絵と文/晶文社) 『きみたちにおくるうた』(バラカ・マ文・ロー・ロウ絵/明石書店) 『風切る翼』(木村裕一作・黒田征太郎絵/講談社) 『ほしをめぐらして』(ピーター・レイナルズ文・絵/岩崎書店) 『ありがとうの約束』(おちまさと文・永島壮矢絵/PHP 研究所) 『ヤクーバとライオン』(ティエリ・デデュ作/講談社) **朗読** 『聞く力』(阿川佐和子著/文藝春秋) 『行為の意味』(宮澤章二著/ごま書房新社) **語り** 『風の神と子ども』(江戸川で聴いた中野ミツさんの昔語り) 野村敬子編/瑞木書房) 昔話「嘘ばなし千両」創作「カーロ・カルソーの話」など
中学生にオススメな本、ぜひ教えてください。
大塚由紀(久喜中読み聞かせボランティア)

川越いろいろなしの会

子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑩



『いろいろなしの会』は、川越市立図書館主催お話の講習会受講生の有志が中心となり、1993年1月に発足しました。月一度の勉強会では、会員同士がお話を語り、それについて意見を言い合ったり、絵本や昔話の本など情報交換をして、お話の世界への理解を深めています。

★勉強会★ 第2金曜 10時～12時（川越市立中央図書館内）

また、大きな部屋で大勢の子供が楽しめるように大型布芝居を作りました。作品は全て許可をいただき絵本を忠実に描き4作品を手がけました。

大型布芝居⇒「風の神とオキ

クルミ」（小峰書店）「うさぎのいえ」（福音館書店）「かちかちやま」（ポプラ社）「さるかに」（フレーベル館）

語り手と布芝居のめくり手が息を合わせて見せていく大型布芝居は、「おはなし会」は初めてという子ども

大きさや布の質感、絵本と同じに描いた絵の美しさにとっても興味を示し、お話の世界にすんなり入ってくれます。

会員は、新人も加わり20名弱おりますが、市立図書館の「おはなし会」で語りを担当、各地域で「おはなし会」を

開催、小学校の朝読などのボランティアをしたりと、それぞれの居住地で活躍

しています。また、年二回、**大人のおはなし会**を開催し、今回28回目と

なります。これからも語り手としての技術だけでなく豊かな心を持ち、

子供はもちろんのこと大人の方にもお話の楽しさを届けられるよう、

自らを磨いていきたいと思っております。ぜひ聴きにいらしてください。

◆ お問い合わせ：唐牛礼子（かろうじれいこ）049-243-3624 ◆

大人のおはなし会
2013.6.7 金、11.8 金
10時～12時
クラッセ川越 6階



Nice to meet you!
子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のウェブサイト
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」のページ



埼玉県のマスコット コバトン

インターネットでは、私たち3グループの活動の一端を

きりめき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

今回は、連載記事 <絵本の読み聞かせ> をご紹介します。

絵本好きな大人が増えたといわれる昨今ですが、朝日新聞の朝刊、生活面の連載<55プラス>に「絵本の読み聞かせ」についての記事がありました。

「読み聞かせ」を続けているシニアの紹介から始まり、絵本の選び方や方法などが次のように掲載されています。

| | | |
|---|---------------|---------------------|
| 1 | 大人の心も揺さぶる世界 | 【2013. 1. 11 (31面)】 |
| 2 | 複数相手には見やすい本を | 【2013. 1. 12 (34面)】 |
| 3 | 絵じっくり見せ ゆっくりと | 【2013. 1. 13 (33面)】 |
| 4 | グループ作り 男性も活躍 | 【2013. 1. 14 (23面)】 |



記事の原本は久喜図書館子ども室！
一覧はウェブサイトで見よう！



「55プラス」のコンセプトは、定年後のセカンドライフに役立つ情報をお届けすること。「55」は55歳、「プラス」は、<前向きな><積極志向の>といった意味合いだそうです。公園などで小さなお子さんと遊ぶシニアの姿を見かけます。そこに「絵本の読み聞かせ」の時間が加わると、大人も子供も豊かな世界がグリーンと広がりそうです。絵本好きな大人なら、世代を超えて絵本を手渡したいと思うはず。お孫さんだけでなく地域の子供たちもシニアの皆様との出会いと声を待っているのではないのでしょうか。

仁昌寺（子ども読書支援ボランティア）

使えるブックリスト

怖い話編もアルのだ

「高学年におすすめする本（本の苦手な子へ）」が完成しました！

いよいよ高学年！ 良質な児童文学へと誘えるよう、わくわく、ドキドキして読み進めていけるようなものをリストアップしました。



『ふしぎな木の果の料理法』

（岡田 淳作/理論社）

<こそあどの森の物語>シリーズ。少し厚くみえるけれど、見開きから1ページ進むだけで、ふしぎな岡田ワールドにひきこまれることでしょう。

『ただいま、和菓子屋さん修行中！！』

（加藤純子作/そうえん社）

きっとハッピーが見つかる！ 5年生男子のおしごとストーリー。絵がマンガチックで手に取りやすい。巻末の<和菓子レシピ>は、読後、親子で作る楽しみにどうぞ！



『ラブレター物語』

（丘 修三作/小峰書店）

わたせなかつたラブレター。ようやくわたせたラブレター。ちょっと困ったラブレター。ラブレターにまつわる短編集。装丁もキュート！ きっと胸が高鳴ります♡



『どうぶつ句会』（あべ弘士さく・え/学習研究社）もおすすめ！ 高学年の本は、大人の心にも充分響きますから、親子で読みあって、感動を共有し、コミュニケーションを深めることも素敵だと思います。

全リストはココ HPトップブックリスト

佐々木（子ども読書支援ボランティア）

知っ得情報！

インターネット情報からの情報収集担当から

*** おすすめウェブサイトの紹介 ***

今回は **手遊び わらべうた** です。

おはなし会や読み聞かせの導入にお役立ちのサイトをご紹介します。



☑ Hoick～保育士・幼稚園教諭のためのWebサイト～

（（株）ソングブックカフェ）

<http://hoick.jp/>

「動画」では、手あそびやあそびうただけでなく、ペープサート、工作や折り紙などいろいろな遊びを紹介。また、「楽曲」や「お話」をキーワードからも検索できるページも。

☑ みんなで遊ぼう、わらべうた遊び（日本わらべうた協会）

わらべうた、伝承あそびを動画で紹介。

<http://www.nihonwarabeuta.jp/dvd/>

☑ こだまブログ（社会福祉法人こだま保育園）

<http://ameblo.jp/ikeda7967/>

滋賀県にある保育園のブログ。保育園での手遊びが動画で紹介されています。「テーマ」の欄の「手遊び」をクリックすると手遊びの記事が絞り込まれて表示されます。

手遊び・わらべうたは、以前「Shien」第7号でも取り上げました。そちらも合わせてご参照ください。（残念ながら、第7号で紹介した「みんなあつまれ！あそびの広場」はアクセスできなくなりました。）

大澤（子ども読書支援ボランティア）